

誠和会

北村 新司
山本 義一
山本 邦男
古川 宏史
横田 義和
中田 眞司

個人質問
北村 新司

緊急災害ネットワーク

問 緊急災害情報の連絡網について。

市長 地域防災計画では、災害が発生した場合は、被災地の住民の適切な判断と行動を助け、住民の安全を確保するため、市防災行政無線での放送や広報車等を活用した広報などにより、正確な情報を迅速に提供することと定めています。

携帯電話のメール機能を使って、市民に災害等に関する情報を素早く送信する「防災メール配信サービス」を実施している自治体もあるのですが、本市の実情に照らし合わせ、研究、検討したいと考えています。

問 冠水時の汲み上げポンプの台数確保は如何か。
市長 冠水頻度が高く、早

急な排水施設整備が困難な6カ所については、排水ポンプを設置し、冠水の解消に努めているところ
です。

また、応急対応用エンジン付排水ポンプは、昨年度5台追加して、現在15台を常備し、市内の道路冠水に対応しているところ
です。

児童の体力

問 市の児童の体力状況は。

教育長 本市の児童の体力状況は、全国の体力状況の低下と同じ傾向で推移しています。しかし、過去5年間を比較すると、ほぼ横ばい状況にあり、顕著な低下傾向は認められません。

問 児童の体力、運動能力の向上対策は如何か。

教育長 健やかな体の育成のため、各学校では児童の体力・運動能力向上へ向けての取り組みに日々工夫を重ねているところです。

具体的には、校内に体力向上委員会を設置し、教科体育の充実、特に一人ひとりに応じた多様な場の展開



▲そりあそび(1月21日雪が積もりました)

を行っていきます。また体育、保健、給食、安全指導面などの多角的な視点から、児童の体力向上に努めています。

北総中央用水事業

問 国の事業計画見直しについて、農家の理解は如何か。

市長 変更内容は、新たな事業制度により農業用水に加え、防火用機能を持った用水として地域に反映されることや、国の施行範囲の見直しなどが含まれてい

ます。なお、11月末現在の同意

状況は、全体の約7割がご理解され、同意を得ていますが、この作業の中で誤解されている点として、1点目に計画変更の同意が未端整備を行う関連事業の施行同意ではないか、2点目にすぐに維持管理費や水代の負担がかかるのではない

か、3点目に既設の畑かん共同施設に強制的につなぎ込まれるのではないかと心配される方々がいます。決してそのようなことではありません。この度の同意は、国営事業計画の変更の同意であることを説明し、理解を得ているところ

です。

問 県営畑地総合関連事業の実施状況について。

市長 事業を実施するには、一定規模の営農面積を有する担い手が増え、担い手の経営面積が増えること、または、既に1割かつ3人以上の担い手が存在すること、20ないし30ヘクタールの受益面積があることが要件となります。

本市では、平成16年より滝台地先において、農家3名の方の協力を得て、本用水を利用した抑制トマト、

ブかん水により試験的に栽培していますが、ストレーナー設置の効果もあり、現在までチューブの目詰まり等の支障は発生していません。また品質、収量についても良好であり、協力していただいている農家の方も安心していきます。



北総中央用水試験ほ場(滝台)

問 搬入量の推移について。農家負担の軽減は如何か。
市長 搬出量は、平成14年度575トン、15年度578トン、16年度440トンという状況です。減少の理由は、搬出時の異物の除去やビニール類等の張り替え時期の延長などが考えられます。

学校給食

問 八街産西瓜をデザートとして導入できないか伺う。

市長 スイカの特性として、肉が壊れやすい、崩れやすい等という難しい点がありますので、今後、提供するスイカの品種・サイズ・消毒の方法、搬送するための容器・方法等を検討したいと考えています。

廃プラスチック事業

